

八王子フィルハーモニー合唱団

Sopranos

伊藤 澄子
榎本 恵子
大木 和子
小川 テル子
小口 智子
小野寺 池鶴子
三枝 登美子
笹本 英子
佐藤 みつえ
新谷 光子
鈴木 光子
高木 陽子
竹内 紀子
竹本 いつ江
田島 洋子
多田 貞子

田所 由佳
中島 末美
橋本 民子
馬戸 ひろ美
藤吉 恵子
古瀬 幹子
堀 フサ子
前畑 ヤス子
眞次 妙子
間瀬田 房江
三鴨 春子
水村 千恵子
森山 喜代子
守屋 みどり
両角 愛子
矢島 喜乃

Altos

有泉 裕子
行武 久美子
石井 チエ子
岩浪 美千代
上野 広子
♪甲斐川 ゆき子
♪片山 沙緒里
桑野 慶子
古室 勝代
佐々木 智子
佐藤 麻子
清水 美智子
田中 由美子
東 弥子
美濃口 よし江
横山 哲子
和田 睦子

Tenors

♪井東 譲
浦澤 章
牛山 啓
♪小津 準策
小林 穂貴
田邊 和哉
♪寺岡 隆央
♪長尾 隆等
♪西山 正彦
和田 敏

Basses

石井 貞三
井上 清明
梅野 良治
♪久保田 秀嘉
♪酒井 俊威
鈴木 穰二
♪寺田 重信
♪蛭沢 明哉
♪渡邊 明哉

Piano

畑野 かん奈

♪:賛助

八王子フィルハーモニー管弦楽団

Violins

♪青柳 裕子
♪奥村 亜木
小澤 悠平
金子 理奈
♪河西 格
沓澤 智子
久保田 啓子
黒羽 るみ
♪清水 あゆみ
♪白石 有美
♪杉林 聖子
♪関根 裕生
竹野 篤志
♪立石 恵理
田中 郁三
♪塚本 澄子
♪富原 朗
♪中島 智美
永松 孝孝
中村 仁美
新岡 泰則
根守 弘和
♪堀江 里佳
三宅 琴音
武者 弘子
望月 恵理菜
望月 翔馬

Violas

♪矢野 実穂
山口 大地
稲垣 智子
♪金坂 隆
小林 佐代子
重野 隆
坪井 敏之
♪平野 彩
♪宮脇 均
村上 和見
♪矢島 千尋
横井 優子

ViolonCellos

會田 田人
♪安孫子 結花
天内 隆裕
遠藤 英明
及川 真一
柏原 勉治
厚東 均治
♪高橋 里奈
筒井 秀樹
橋本 昌士

Doublebasses

♪石川 友隆
♪大松 慶子
唐澤 亮
♪菅江 巖
♪戸田 利忠
中田 勝敏
藤原 剛里
渡邊 愛里

Flutes

幸淵 裕美子
武長 秀雄
西脇 彰

Oboes

井上 瑠美子
川手 紀子
本橋 光夫

Clarinets

尾田 美幸
酒井 徳顕
坂口 周夫
堀田 由佳

Bassoons

青山 梓
♪奥田 三香子
那須 雅之
福山 由美

Horns

幸坂 裕子
竹村 真紀子
坪井 絵夢
廣田 曜
山崎 直子

Trumpets

井上 昌義
川上 達史
幸坂 篤志

Trombones

♪赤石 明人
赤尾 達也
井川 亮一

Tuba

齊藤 伸弘

Percussion

川上 友美
清水 哲史
関 博子

Harp

♪三浦 麻葉

Organ

♪野間 美希

Stage Manager

滝沢 徹

♪:賛助

#:団友

コンサートマスター

金子 理奈



八王子市市制100周年プレ記念事業

八王子フィルハーモニー合唱団・
八王子フィルハーモニー管弦楽団

ドイツレクイエム演奏会

指揮 角岳史

ソプラノ 針生美智子

バリトン 武田直之

2016年11月20日(日) 13:15開場 14:00開演
オリンパスホール八王子

主催：八王子フィルハーモニー合同演奏会実行委員会
共催：(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

プログラム

R.ワーグナー:歌劇「ローエングリン」より

Wilhelm Richard Wagner (1813 ~ 1883) : *Romantische Oper 'Lohengrin'*

第1幕への前奏曲

Vorspiel zum erster Akt

第1幕第2場より 悲しみに沈んだ日々に [エルザの夢]

Erster Akt zweite Szene Einsam in Trüben Tagen (Elsas Traum)

第3幕への前奏曲

Vorspiel zum dritter Akt

..... 休憩 (15分)

J.ブラームス:ドイツレクイエム 作品 45

Johannes Brahms (1833 ~ 1897) : *Ein deutsches Requiem*

第1曲 悲しんでいる人たちはさいわいである

Selig sind, die da Leid tragen

第2曲 人はみな草のごとく

Denn alles Fleisch es ist wie Gras

第3曲 主よ、わが終りと

Herr, lehre doch mich

第4曲 万軍の主よ、あなたのすまいは

Wie lieblich sind deine Wohnungen

第5曲 このように、あなたがたも今は不安がある

Ihr habt nun Traurigkeit

第6曲 この地上に永遠の都はない

Denn wir haben hie keine bleibende Statt

第7曲 今から後、主にあつて死ぬ人はさいわいである

Selig sind die Toten

ごあいさつ

八王子フィルハーモニー合唱団 団長 佐藤みつえ

本日はお忙しい中、八王子フィルハーモニー合唱団・八王子フィルハーモニー管弦楽団の演奏会に、ご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

1993年結成以来、「オーケストラと歌う合唱団」を掲げて八王子市を中心に地域に根ざした活動を続けている私たち八王子フィルハーモニー合唱団ですが、一昨年のフォーレ「レクイエム」、昨年のヴィヴァルディ「グロリア」等につづきまして、2016年は、ブラームス「ドイツレクイエム」に挑みます。この壮大な難曲は、久しぶりの八王子フィルハーモニー管弦楽団との共演にふさわしい大曲であり、また2000年から10年の間親しく交流させていただいたドイツのザクセン交響楽団ケムニッツから、2008年の来日の際に寄贈されたオーケストラ譜を使用するということもあり、とても感慨深い思いであります。

私共合唱団を10年に亘りご指導いただいています指揮者、角岳史先生のもと、この特別なレクイエムの、ドイツ語の歌詞やその意味合いを大事に汲み取り、ブラームスの深い響きを表現すべく練習を重ねてまいりました。八王子市政100周年を目前とした今年、市民の手作りによる、祈りの響きとハーモニー、オーケストラと溶け合う音のいっばいつまった演奏を、お届け出来れば幸いです。どうぞ楽しいひとときをお過ごしください。

八王子フィルハーモニー管弦楽団 団長 西脇 彰

本日は、ドイツレクイエム演奏会にお運びいただきまして、誠にありがとうございます。

今回は、長年ご指導を賜っております角岳史先生の指揮のもとで、ソリストに針生美智子さん・武田直之さんをお迎えして、楽団とも深く長く交流して頂いている八王子フィルハーモニー合唱団と共に、ブラームスの名曲などをお届けします。

角先生は、ユーモアで団員をリラックスさせ、曲の真髄を示し、歌を求め、多くのプレーヤー間のアンサンブルを作っていく名手です。マエストロの音楽に応えられるよう精一杯演奏しますので、最後までお聴き頂き、ご意見・ご感想を賜りますようお願い申し上げます。

今回は、来年に八王子市市制100周年を迎えるプレ記念事業でもあり、来年も市制100周年記念事業にたずさわり、地域密着の音楽活動を展開して参る所存です。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

角 岳史 (すみ たけし) / 指揮者 / 演出家 Takeshi Sumi : Conductor

島根県に生まれる。東京学芸大学芸術課程音楽科卒業。指揮と作曲を学ぶ。1995年よりウィーンに留学し研鑽を積む。

1996年より2009年まで(財)日本オペレッタ協会の全ての公演において、指揮者または合唱指揮者として、『こうもり』『メリーウィドウ』をはじめとする数多くのオペレッタに携わる。オペラでも、これまで各地の団体でモーツァルト『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』、ヴェルディ『椿姫』『リゴレット』、プッチーニ『ボエーム』、ビゼー『カルメン』、フンパーディンク『ヘンゼルとグレーテル』、團伊久磨『夕鶴』などを指揮。劇団四季のロングラン公演『オペラ座の怪人』などでミュージカル指揮者として、またオーケストラや合唱の指揮者、指導者としても各方面で活躍。

2009年より東京オペレッタ劇場を主宰し、オペレッタ公演のプロデュース、指揮の他、演出、日本語訳詞なども手がけている。主な演出作品は『カルメン』『椿姫』『こうもり』『メリーウィドウ』『天国と地獄』『魔笛』『ボッカッチョ』『伯爵令嬢マリツァ』など。

指揮を井崎正浩、湯浅勇二、松尾洋子、ルドルフ・ピープル、ヴァラディ・カタリンの各氏に、作曲を青木祐二、吉崎清富の各氏に師事。



次回演奏会のお知らせ

合唱団

八王子フィルハーモニー合唱団 創立25周年記念演奏会

日 時 : 2017年12月(予定)

管弦楽団

~八王子市市制100周年プレ記念事業~

八王子フィルハーモニー管弦楽団

第55回定期演奏会

A. ドヴォルジャーク 交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

E. エルガー エニグマ変奏曲

A. ホロディン 歌劇「イーゴリ公」よりだつたん人の踊り

日 時 : 2017年5月28日(日)

14:00 開演(予定)

会 場 : オリンパスホール八王子

指 揮 : 松岡 究

~八王子市市制100周年記念事業~

八王子フィルハーモニー管弦楽団

第56回定期演奏会

C. サン=サーンス 交響曲第3番「オルガン付き」他

日 時 : 2017年10月29日(日)

14:00 開演(予定)

会 場 : オリンパスホール八王子

指 揮 : 古谷 誠一

プロフィール

針生 美智子 / ソプラノ Michiko Hariu : Soprano

小樽市出身。札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業、同専攻科修了。文化庁オペラ研修所第11期修了。北海道文化財団、文化庁派遣芸術家在外研修員として、イタリアローマに留学。

第二回藤沢オペラコンクール第一位および福永陽一郎賞受賞。第七回ハイメスコンクール第一位。サンタ・マルゲリータ・リグレ国際セミナーで大賞（第一位）受賞。同地において、『リゴレット』シルダで出演。

第五回道銀芸術文化奨励賞、小樽文化奨励賞受賞。

上野学園、札幌大谷大学非常勤講師。東京オペラプロデュースメンバー、東京室内歌劇場、二期会会員。札幌定期「カルミナ・ブラーナ」(高関健指揮)をはじめ、「第九」やフォーレ、モーツァルト「レクイエム」、「戴冠式ミサ」「ハ短調ミサ」「メサイア」等のソリストをつとめている。

オペラでは、藤沢市民オペラ『ウィンザーの陽気な女房達』フルート夫人、『地獄のオルフェ』ユリディス、『リエンツィ』平和の使者、北海道二期会『魔笛』夜の女王、『フィガロの結婚』スザンナ、日生劇場『セビリアの理髪師』ロジーナ、新国立劇場『ドン・ジョバンニ』マトリーナの他、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、デスピーナ、『ヴァンパイア』エミー、『ロビンソン・クルーソー』エドヴィージュ、『リゴレット』シルダ等を演じている。

オペレッタでは、日本オペレッタ協会、東京オペレッタ劇場で『ヴェニスの一夜』アンニーナ、『微笑みの国』ミー、『メリー・ウィドウ』ヴァランシェンヌ、『こうもり』アデーレ、『ジェロルシュタイン大公殿下』ジェロルシュタイン大公、『バリの生活』ギャブリエル、『地獄のオルフェ』ユリディス、『紅いりんご』カトリヌ等で活躍。

2010年、二期会『魔笛』（故実相寺昭雄演出、テオドルド・グシュルバイアー指揮）夜の女王、2011年、日生劇場『夕鶴』（故鈴木敬介演出、下野竜也指揮）つう、2012年、松本オペラ『魔笛』（白井晃演出、城谷正博指揮）夜の女王、2013.14年、新国立劇場尼崎公演『夕鶴』つう、2014年、新国立劇場『ハルジファル』（ハリー・クプファー演出、飯守泰次郎指揮）花の乙女で出演、好評を博した。



武田直之 / バリトン Naoyuki Takeda : Baritone

山形県立山形北高校音楽科卒業。洗足学園大学音楽学部声楽科卒業。同大学院第1期修了。院1年次国際交流企画の代表に選出されウィーン国立音楽大学に赴きレッスンを受講。院2年次には制定初となる前田記念奨学生となった。平成14年度友愛ドイツリートコンクール入選。現在各地においてオペラ、オペレッタ、宗教曲等のソリストとして数多くの舞台に出演。洗足学園大学創立80周年記念オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役、国民文化祭オペラ『小鶴』（初演）番頭庄七役、日生劇場国際ファミリーフェスティバルオペラ『アラジンと魔法のランプ』大臣役、藤沢市制70周年記念オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ役、藤沢市民オペラ創立40周年記念『フィガロの結婚』バルトロ役、等。

また、バッハのカンタータやヘンデル「メサイア」、ハイドンの「天地創造」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「戴冠式ミサ」「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」、ブラームス「ドイツレクイエム」、フォーレ「レクイエム」等、宗教曲のソリストも数多く務める。東京国際映画祭アニメ上映企画 animecs TIFF で上映された松見真一監督「あうりん」で父親役の声優を務める他、朗読劇、ミュージカルと、活躍の幅を広げている。佐藤征一郎、市原多朗、甲斐栄次郎、各氏に師事 洗足学園音楽大学講師。



曲紹介


 歌劇「ローエングリン」より
 第1幕への前奏曲・「エルザの夢」・第3幕への前奏曲

歌劇「ローエングリン」は、ワーグナーによるオペラの中でも特に人気の高い作品の一つで、本日演奏する第1幕、第3幕への各前奏曲や『婚礼の合唱』（結婚行進曲）など、有名な曲の多い名作です。

初演は1850年に行われましたが、当時政治犯として亡命していたワーグナーは演奏を聴くことができず、自身が演奏に接することができたのは1861年のことでした。この亡命の間に「ローエングリン」はベルリオーズやチャイコフスキーらに感銘を与え、バイエルン国王ルートヴィヒ2世を心酔させるなど大きな人気を獲得、ワーグナーは「楽劇」という総合芸術の創作へ飛躍していきます。

＜歌劇「ローエングリン」あらずし＞

中世ヨーロッパのブラバント公国。ある時、領主ブラバント公が亡くなり、長女のエルザ姫と、世継ぎの弟が残された。しかし突然、その弟が行方不明になり、次の領主の地位を狙う伯爵と、その妻オルトルートによって、エルザ姫は弟殺しの罪を着せられてしまう。裁判になり、追い詰められたエルザが夢で見た騎士に救いを求める（エルザの夢）と、奇跡が起こり、天から騎士が白鳥とともに現れる。騎士は自分の名前と素性を尋ねない事を条件に、姫の代理人となって決闘に臨み、見事伯爵を打ち負かし姫の無実を証明したのだった。

めでたく結ばれた二人。しかしオルトルートにそそのかされ、姫は騎士の正体に、疑いを抱き、ついに禁断の質問を口にしてしまう。騎士は自らの正体を明かし、再び天空へと去ってゆく。

悲しみに沈んだ日々に（エルザの夢） 歌詞／訳

Einsam in trüben Tagen hab' ich zu Gott gefleht,
 des Herzens tiefstes Klagen ergoss ich im Gebet.
 Da drang aus meinem Stöhnen
 ein Laut so klagevoll,
 der zu gewalt'gem Tönen
 weit in die Lüfte schwoll:
 Ich hört' ihn fernhin hallen,
 bis kaum mein Ohr er traf;
 mein Aug' ist zugefallen,
 ich sank in süßen Schlaf.

悲しみに沈んだ日々に、私は独り、神に祈りました。
 心の底の嘆きを祈りに込めたのです。
 すると、私のため息から、
 嘆きに満ちた声が響きとなっておこり、
 それはやがて力強く、
 はるかな空へと響き渡ったのです。
 その響きは速くに消えて行き、
 ついに私の耳には届かなると、
 私のまぶたは閉じて、
 心地よい眠りに落ちて行っただけです。

In Lichter Waffen Scheine
 ein Ritter nahte da,
 so tugendlicher Reine
 ich keinen noch ersah:
 Ein golden Horn zur Hüften,
 gelehnt auf sein Schwert -
 so trat er aus den Lüften
 zu mir, der Recke wert;
 gab Tröstung er mir ein;
 des Ritters will ich wahren,
 er soll mein Streiter sein!

輝く武具を身に付けて
 ひとりの騎士が近づいて来ました。
 これまで見たこともないような、
 清らかで気高きを持った方でした。
 黄金の角笛(ホルン)を腰にさげ、
 剣に身を寄せていらっしやる。
 その立派な騎士は、
 空からわたしに近付いてきました。
 そして礼儀正しい振舞いで、
 私を慰めてくれました。
 この騎士に私はお会いしたいのです!
 彼は私のために戦ってくれる方です!

Des Ritters will ich wahren,
 er soll mein Streiter sein!
 Hört, was dem Gottesandten
 ich biete für Gewähr:
 In meines Vaters Landen
 die Krone trage er;
 mich glücklich soll ich preisen,
 nimmt er mein Gut dahin -
 will er Gemahl mich heissen,
 geb' ich ihm, was ich bin!

この騎士に私はお会いしたいのです!
 彼は私のために戦ってくれる方です!
 お聞きください、神に遣わされる騎士に対し
 私が何をお約束するのか。
 あの方は、私の父が治めていた領土の
 君主となるのです。
 ブラバントの財産を受けていただけるのなら、
 私はなんと幸せでしょうか。
 そのうえに妻と呼んでいただけるのなら、
 私はすべてをあなたの方に捧げましょう!

曲紹介



J.ブラームス:ドイツレイエム 作品 45

若い頃のブラームスの大作は長い期間をかけて作られたものがありますが、この曲も10年を費やして完成されました。

作曲のきっかけは、シューマンの死(1856年)だったようで、ブラームスにとって彼は、自分を認めてくれた最初の作曲家であり、世の中に広く名を知らしめてくれた人のために、葬送のための曲の構想が練られ始めました。ただ、20代前半のブラームスにはすぐには書き上げられず、多くの作曲上の経験や、ヨーロッパ各地への演奏旅行での音楽家たちとの交流、合唱団の指揮者としての活動を必要としました。ほかにはメンデルスゾーンが行ったバッハの「マタイ受難曲」復活上演以来始まっていたバッハの再評価の流れがあり、合唱団の演奏会では宗教音楽も上演して研究していました。

なによりもブラームス自身の「完璧さに対する熱心な要求」という性格、プロテスタントとしての強い信仰心(音楽＝神のごとく完璧さの追求)を踏まえ、進展しない作曲の中、1865年に母のクリスティアーネが亡くなります。ブラームスの性格は母親の影響が強いように思われますが、母の死の悲しみは大きかったのでしょうか、以降1年ほど集中して作曲し、第5曲以外の6曲が1866年に完成しました。まずはプレーメンの大聖堂で1868年に初演。翌月、第5曲を作曲し、その翌年ライプツィヒで全曲初演。どちらも大成功のうちに終わり、作曲家としての名声を確立することとなりました。

この頃のヨーロッパは、普墮戦争があったり、根強い社会階層格差があったり等、不安な時代の中で、死をめぐる思索、苦悩する者への慰めを真摯に歌い上げたこの曲は、多くの人々に深い感動と感銘を与えたのでしょう。

- 第1曲** かなりゆっくり、表情をもって へ長調
生き残った者たちへの呼びかけから曲は始まり、悲しむ者への慰めの約束を示します。
- 第2曲** ゆっくりと、行進曲風に 変ロ短調
葬送曲風に、人生の空しさ、はかなさが歌われ、東洋的な無常感が漂います。
- 第3曲** アンダンテ・モデラート 二短調
この曲では、命がはかなく、無に等しく、空しくても、正しい者は苦悩に揺すられることはないという、「わたし」個人の信仰のゆるぎなさを表現しています。壮大なフーガでは、ベースが「レ」の音を鳴らし続けますが、信仰のゆるぎなさ示しています。
- 第4曲** ほどよい動きで 変ホ長調
神を心からたたえる曲です。「常にあなたをほめたたえる人は幸いです」からフーガとなります。
- 第5曲** ゆっくりと ト長調
母の墓参りの際に着想したと言われ、「母のその子を慰めるように」と慰めを表現しています。
- 第6曲** アンダンテ ハ短調
「怒りの日」に相当する曲です。復活の奥義を告げ、最後の審判の劇的なヴィヴァーチェの部分は圧巻です。
- 第7曲** 荘重に ハ長調
第1曲に対応した締めくくりの曲です。曲は第1曲の最後の部分を回想しつつ、消え入るように終わります。

曲の歌詞は、本来のレイエムの歌詞ではなく、ブラームス自身が聖書の中から選択、引用して全体を構成したものです。

(Vc S.O)

ドイツレイエム 歌詞／訳

【第1曲】

Selig sind, die da Leid tragen,
denn sie sollen getröstet werden.

悲しんでいる人たちはさいわいである。
彼らは慰められるであろう。
(マタイによる福音書 第5章 第4節)

Die mit Tränen säen,
werden mit Freuden ernten.

涙をもって種まく者は、
喜びの声をもって刈り取る。
(詩篇 第126篇 第5節)

Sie gehen hin und weinen
und tragen edlen Samen,
und kommen mit Freuden
und bringen ihre Garben.

種を携え、涙を流して出て行く者は、
束を携え、喜びの声をあげて
帰ってくるであろう。
(詩篇 第126篇 第6節)

【第2曲】

Denn alles Fleisch es ist wie Gras
und alle Herrlichkeit des Menschen
wie des Grases Blumen.

Das Gras ist verdorret
und die Blume abgefallen.

人はみな草のごとく、
その栄華はみな草の花に似ている。
草は枯れ、花は散る。
(ペテロ第1の手紙 第1章 第24節)

So seid nun geduldig, lieben Brüder,
bis auf die Zukunft des Herrn.
Siehe ein Ackermann wartet
auf die köstliche Frucht der Erde
und ist geduldig darüber,
bis er empfahe den Morgenregen
und Abendregen.

だから、兄弟たちよ。
主の来臨の時まで耐え忍びなさい。
見よ、農夫は、地の尊い実りを
前の雨と後の雨とがあるまで、
耐え忍んで待っている。
(ヤコブの手紙 第5章 第7節)

Denn alles Fleisch es ist wie Gras
und alle Herrlichkeit des Menschen
wie des Grases Blumen
Das Gras ist verdorret
und die Blume abgefallen.
Aber des Herrn Wort bleibet in
Ewigkeit..

人はみな草のごとく、
その栄華はみな草の花に似ている。
草は枯れ、花は散る。
しかし、主の言葉はとこしえに残る。
(ペテロ第1の手紙 第1章 第24節)

Die Erlöseten des Herrn werden wieder
kommen
und gen Zion kommen mit Jauchzen;
ewige Freude wird über ihrem Haupte sein;
Freude und Wonne werden sie ergreifen
und Schmerz und Seufzen wird weg müssen

主にあがなわれたものは、帰ってきて、
その頭に、とこしえの喜びをいただき、
歌うたいつつ、シオンに来る。
彼らは楽しみと喜びとを得、悲しみと嘆きとは逃げ去る。
(イザヤ書 第35章 第10節)

【第3曲】

Herr, lehre doch mich,
daß ein Ende mit mir haben muß,
und mein Leben ein Ziel hat,
und ich davon muß.

主よ、わが終わりとわが日の数のどれほどであるかを
わたしに知らせ、わが命のいかに
はかないかを知らせて下さい。
(詩篇 第39篇 第4節)

Siehe, meine Tage sind einer Hand breit
vor dir,
und mein Leben ist wie nichts vor dir.

見よ、あなたはわたしの日を
つかのまとされました。
わたしの一生はあなたの前では無にひとしいのです。
(詩篇 第39篇 第5節)

Ach, wie gar nichts sind alle Menschen,
die doch so sicher leben.
Sie gehen daher wie ein Schemen,
und machen ihnen viel vergebliche Unruhe;
sie sammeln und wissen nicht,
wer es kriegen wird.
Nun Herr, wes soll ich mich trösten?
Ich hoffe auf dich.

まことに人は影のようにさまよいます。
まことに彼らはむなしいことのために騒ぎまわるのです。
彼は積みたくわえるけれども、
だれがそれを取るかを知りません。
主よ、今わたしは何を待ち望みましょう。
わたしの望みはあなたにあります。
(詩篇 第39篇 第6～7節)

Der Gerechten Seelen sind in Gottes Hand
und keine Qual rührt sie an.

正しい者の魂は神の御手にあり、
苦悩に揺すられることはありません。
(旧約統篇 ソロモンの智恵 第3章 第1節)

【第4曲】

Wie lieblich sind deine Wohnungen,
Herr Zebaoth!
Meine Seele verlangt und sehnet sich
nach den Vorhöfen des Herrn;
mein Leib und Seele freuen sich
in dem lebendigen Gott.
Wohl denen, die in deinem Hause wohnen,
die loben dich immerdar.

万軍の主よ、あなたのすまいはいかに麗しいことでしょう。
わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、
わが心とわが身はいける神にもかって喜び歌います。
(詩篇 第84篇 第1～2節)

あなたの家に住み、常にあなたを
ほめたたえる人は幸いです。
(詩篇 第84篇 第4節)

【第5曲】

Ihr habt nun Traurigkeit;
aber ich will euch wieder sehen
und euer Herz soll sich freuen,
und eure Freude soll niemand von euch
nehmen.

このように、あなたがたも今は不安がある。
しかし、わたしは再びあなたがたと会うであろう。
そして、あなたがたの心は喜びに満たされるであろう。
その喜びをあなたがたから取り去るものはいない。
(ヨハネによる福音書 第16章 第22節)

Sehet mich an:Ich habe eine kleine Zeit
Mühe und Arbeit gehabt
und habe großen Trost funden.

わたしを見よ。わたしはつかの間の勤労と労役を
したにすぎないのに、大いなる慰めを得た。
(旧約統篇 ベン・シラの智恵 第51章 第27節)

Ich will euch trösten,
wie einen seine Mutter tröstet.

母のその子を慰めるように、
わたしもあなたがたを慰める。
(イザヤ書 第66章 第13節)

【第6曲】

Denn wir haben hie keine bleibende Statt,
sondern die zukünftige suchen wir.

この地上に永遠の都はない。
きたらんとする都こそ、わたしたちの求めているものである。
(ヘブル人への手紙 第13章 第14節)

Siehe, ich sage euch ein Geheimnis:
Wir werden nicht alle entschlafen,
wir werden aber alle verwandelt werden;
und dasselbige plötzlich, in einem Augenblick,
zu der Zeit der letzten Posaune.
Denn es wird die Posaune schallen,
und die Toten werden auferstehen
unverweslich
und wir werden verwandelt werden.
Dann wird erfüllet werden das Wort, das
geschrieben steht:
Der Tod ist verschlungen in den Sieg.
Tod, wo ist dein Stachel?
Hölle, wo ist dein Sieg?

ここで、あなたがたに奥義を告げよう。
わたしたちすべては、眠り続けるのではない。
終りのラッパの響きと共に、
またたく間に、一瞬にして変えられる。
というのは、ラッパが響いて、
死人は朽ちない者によみがえられ、
わたしたちは変えられるのである。
そのとき、聖書に書いてある言葉が成就するのである。
「死は勝利に呑まれてしまった。
死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。
死よ、おまえのどげはどこにあるのか。」
(コリント人への第1の手紙 第15章 第51～55節)

Herr, du bist würdig
zu nehmen Preis und Ehre und Kraft,
denn du hast alle Dinge erschaffen,
und durch deinen Willen haben sie das Wesen
und sind geschaffen.

われらの主なる神よ、あなたこそは、
栄光とほまれと力とを受けるにふさわしい方。
あなたは万物を造られました。
御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります。
(ヨハネの黙示録 第4章 第11節)

【第7曲】

Selig sind die Toten,
die in dem Herrn sterben, von nun an.
Ja, der Geist spricht,
daß sie ruhen von ihrer Arbeit;
denn ihre Werke folgen ihnen nach.

今から後、主にあって死ぬ人はさいわいである。
御霊も言う、
「然り、彼らはその労苦を解かれて休みを得る。
その行いが報われるからである。」
(ヨハネの黙示録 第14章 第13節)